

イベント企画&開催のコツ・ SDGsフェスタまちだ開催レポート

団体のみなさんから「イベントや講義の開催は毎回大変…」という声をよく聞きます。ここからは、前ページで紹介した「みんなの経験共有会」の開催前後でサポートオフィスのスタッフが毎回行っていることや工夫していることを紹介します。イベント等の開催のヒントにいただけると嬉しいです。

また、2月19日に開催されたSDGsフェスタまちだの開催レポートについてもご紹介します。



サポートオフィススタッフが語る イベント企画&開催のコツ

事前準備の ポイント

POINT 1 企画づくりや登壇者の 選定は一人で決めず みんなでワイワイ相談

複数人で検討することで、たくさんの視点や意見が入り、より良い内容にすることができます。サポートオフィスでは、毎回互いを否定せず意見を言い合える雰囲気の中、企画会議を進めています。

POINT 2 登壇者と事前に 顔合わせをし、 当日のゴールを握り合う

トークセッションの登壇者の方とは必ず1時間程度、顔合わせと開催目的や当日の流れをお伝えする時間を設けています。お互いに当日のゴールが明確になるので、安心して進めることができます。

POINT 3 参加者には開催日の 前日までに リマインドメール配信

イベント等の申込時にメールアドレスを必ず記載いただいています。「明日来てくださいね」という想いを込めて、開催情報を再度メールでお送りすることで、ドタキャン率も下がります。

やること定型化の ポイント

POINT 1 使いまわせる チラシ・HPの イベントページを作る

毎回チラシやイベント告知ページを一から作るのは大変です。「経験共有会」は毎回テーマと登壇者は異なりますが、それ以外の内容はほぼ同じなので、レイアウトを定型化し、必要な箇所だけを上書きすることで効率化を図りました。

POINT 2 同じ質問項目の 事後アンケートで 企画をブラッシュアップ

参加者アンケートを同じ項目で毎回必ず取るようにしました。アンケート用紙には二次元コードも入れ、帰りの電車等でもスマホから回答できるような工夫も。回答率も高く、イベントを良くするヒントをたくさんいただくことができました。

POINT 3 イベント開催レポートと 次のイベント告知を 開催後すぐに行う

登壇者のみなさんから、毎回素晴らしいお話をいただきました。その様子を次の開催情報も添えてホームページで公開し、関心を持っていただける工夫をしました。開催レポートの構成も定型化すると更新も楽ですよ。

SDGsフェスタまちだ開催レポート

2月19日、町田シバヒロで行われた「SDGsフェスタまちだ」(町田青年会議所主催)に出展しました。当日はSDGsの17のゴールを書いたうちわ等を用意したフォトブースを作り、たくさんの方にお越しいただきました。これからもサポートオフィスは、地域活動団体の運営サポートや連携等を通じて、SDGsの達成に向けて取り組んでまいります。



SDGsの解説や当日の様子などのレポートを公開しています。
下記の二次元コードよりご覧ください。



町田市地域活動
サポートオフィス

Now

スマホ撮影プチ講座を開催しました

Topics

あなたの「やってみよう」を
「やってみよう!」に変える
地域活動の醍醐味や進め方のコツ

Information

イベント企画&開催のコツ・
SDGsフェスタまちだ
開催レポート



Now

近況報告

すぐに取り入れられるアイデア満載! スマホ撮影プチ講座を開催しました

「地域活動団体がいつでも交流し学び合える場」として、毎月第1木曜日※1に市役所2階の市民協働おうえんルームで開催している〈まちカフェ! オープンデー〉。毎回、団体活動のヒントやスキルアップにつながるプチ講座も行っています。

2月のオープンデーでは、多くの地域活動で素敵な写真を撮られている北村友宏さんを講師にお招きし、活動の様子などをスマートフォンでイキイキと撮るコツを教えてくださいました。

スマートフォンのカメラ機能の設定を確認した後、撮影の構図やタイミングについて、北村さんが撮影した写真を題材に学びました。参加者からは、「ちょっとしたコツや工夫をすることで、風景だけではなくその場の雰囲気まで撮れるとわかった!」や「自団体の活動風景をもっと素敵に撮れそうだと自信がついた」という感想が寄せられました。

※1まちカフェ! オープンデーは毎月第1木曜日(祝日などある場合は第2木曜日)、10時～17時に開催しています。プチ講座開催などの最新情報は、サポートオフィスのホームページでご確認ください。

▲講師から教えていただいた撮影のコツ※2を踏まえてサポートオフィスのスタッフが撮影した、参加者のみなさんの集合写真。和気あいあいとした雰囲気が伝わっていると嬉しいです。



▲講師の北村友宏さん。「撮影技術よりも大事なことは、撮影している自分が何に心を動かされているのか、写真を見た人に何を感じてほしいのかを考えることです」という言葉が印象的でした。



▲午前の部・午後の部、併せて22人の方に参加いただきました。実際に自分のスマートフォンを操作する際は受講者同士で教えあいながら進めました。



町田市地域活動
サポートオフィス

info@machida-support.or.jp

町田市地域活動サポートオフィス

検索



www.machida-support.or.jp

042-785-4871 受付時間 月曜日から金曜日 午前9時から午後6時
(毎月第三水曜日は午後5時まで)

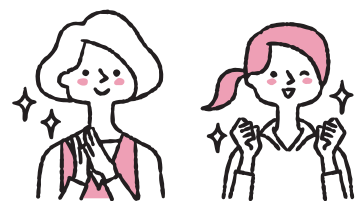


※2 撮影のコツ 3分割法

スマホの画面を9等分してその枠を意識して被写体を配置するとバランスがとれます! 講座で学んだ光源も意識して撮影しました。

Topics

特集



みんなの経験共有会登壇者に学ぶ
あなたの「やってみたい」を
「やってみよう!」に変える

地域活動の醍醐味や進め方のコツ

今年度サポートオフィスでは、毎月一人ひとりの経験や挑戦をみんなの知として共有し、「やってみたい」を「やってみよう」にする場として「みんなの経験共有会」を開催しました。「法人格をとってみたい」「助成金を活用してみた」などのテーマを実践した方にお越しいただき、経験や挑戦を通して得た知恵やコツ、活動の醍醐味などお話しいただきました。

ここからは、それぞれの経験共有会で語られたテーマごとのコツや気づきとサポートオフィススタッフの心にグッと迫ったポイントとを合わせてご紹介いたします。興味を持たれたら、ぜひ下記の二次元コードから各テーマの開催レポートをご覧ください。登壇者のみなさんがご自身の体験から紡ぎだした言葉の一つひとつが活動を進めるための原動力となるはずです。



最新の経験共有会(3月開催)レポートは、こちらよりご覧ください。→>>>
レポートの下には、過去回のレポートページのリンクを掲載しています。



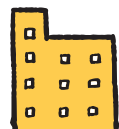
2022
04

法人を設立してみた!

NPO法人・一般社団法人設立経験共有会

団体法人化のコツとそこから気づき

- ① 時には慎重に、でも勢いも大切! 自分たちに合ったベースと内容で法人格を選択していくことが大事
- ② 法人化をすると契約主体になる、金額の大きな助成金に挑戦する、行政や他組織と協働する等が可能になる



サポートオフィスの
グッと
ポイント

法人化への動機は、団体の信用確立、他団体との連携拡大、助成金・補助金の獲得などでしたが、奥底にあったのは「目標に向かう情熱と覚悟」でした。(大谷光雄)

2022
05

協働事業やってみた!

協働事業に取り組んだ経験共有会

協働事業を進めるコツ

- ① 「楽しい」「こうしてみたい」「同じベクトルを向いている」がスタート地点
- ② 自分と協働相手が何を大切にしているかを知り、協働するメリットを相手の立場に立って考える
- ③ 「違いは魅力」ととらえ、弱みをさらけ出し強みで補い合う。事業のことだけでなく、関心事、気持ちなども共有し、遠慮なくコミュニケーションをする

サポートオフィスの
グッと
ポイント

「私たちにとって当たり前のことでも、相手は違うかもしれない。そこからスタートすることが大切」という言葉が印象的でした。「違い」を楽しむのが協働のコツ!(喜田亮子)

2022
06

学生と一緒に活動してみた!

学生との協働事業に取り組んだ経験共有会

学生と協働を進めるコツ

- ① 「若い力」「学生」とひとくくりにはしない。一人ひとり違うということを意識する
- ② 時には食事等を共にして、雑談をしながら「普段着」で向き合う機会を作る
- ③ まずはお互いの活動を知ることからスタート



サポートオフィスの
グッと
ポイント

世代も立場も異なる中で、最初はお互いに遠慮してお見合い状態になってしまうことも!(笑)「自分から声をかける」、「分からなかったら聞く」など少しずつ歩み寄る姿勢が大切ですね。(橋本 空)

2022
07

オンラインイベントやってみた!

オンラインイベントのコツ経験共有会

オンラインイベント開催のコツ

- ① 対面もオンラインも一番大切なことは、「開催目的・ターゲットの明確化」
- ② 慣れてないうちは、参加者へそのことを伝えて、フォローしてもらえる雰囲気づくりを
- ③ 「慣れ」が大事。失敗を振り返りながら、同じ内容で繰り返し開催する
- ④ 参加者との壁が低いのはオンラインの魅力。参加者を上手に巻き込む!

サポートオフィスの
グッと
ポイント

オンラインやITのスキルを取り入れることで、これからの時代は活動の幅がぐんと広がることを再確認しました。サポートオフィスでも様々なスキルアップ講座を企画していきたいと思います。(杉山久美子)

2022
09

助成金にチャレンジしてみた!

助成金の活用経験共有会

助成金活用のコツ

- ① 団体と助成する側は一緒に取り組む協働パートナーと捉える
- ② 助成担当者には気軽に何度でも相談してOK!
- ③ 助成する側からのメッセージが詰まった募集要項はしっかり読み込み理解すること



サポートオフィスの
グッと
ポイント

助成金申請は、「助成側と団体がどこまで折り合いをつけられるかを探す作業」という言葉。「折り合いをつける」というマイナスな印象ですが、互いの重なりを探すのはいろいろな場面で大切な視点ですね。(喜田亮子)

2022
10

マルシェやってみた!

マルシェ開催の経験共有会

マルシェ開催の魅力とコツ

- ① お客さん・出店者同士のつながりができていくのが大きなやりがいになる
- ② 広報・告知はいろんな方法で運営者・出店者のみんなで取り組むとよい
- ③ 何はともあれ「自分たちも楽しむ!」



サポートオフィスの
グッと
ポイント

マルシェ開催のメリットとして、「出店者同士がコラボしたりお客様との新たなつながりができたりと、事業の新しい芽が生まれること」というお話が印象的でした。(杉山久美子)

2022
12

まちカフェ! でチャレンジしてみた!

まちカフェ! 経験共有会

まちカフェ! のいいところ&活用のコツ

- ① 一人でできないことも声をあげることでつながり、実現できる
- ② スキルアップもでき、新しい自分を発見できる
- ③ まちカフェ! は自由に挑戦できる場! 新しいチャレンジをしよう



サポートオフィスの
グッと
ポイント

イベントの成功基準は参加団体それぞれで、90団体あれば90通りあります。今後も各団体の想いのグラデーションを大切にしていきたいと感じました。(橋本 空)

2023
01

仲間と一緒に仕事をおこしてみた!

労働者協同組合 経験共有会

仲間と一緒に仕事をおこすコツ&協同労働のいいところ

- ① 協同労働は、みんなでお金も出す、口(意見)も出す、身体も動かす働き方
- ② 法人を立ち上げる時に限らず、協同労働の考え方は団体運営に活かせる!
- ③ 意見反映は仕組みを作ると同時に、組合員同士の信頼関係も大切に



サポートオフィスの
グッと
ポイント

協同労働の現場での経験は、「働く」から社会を考えるがヒント満載! 「大事な決断をするときはみんなで納得いくまで話をすると揺るがない強い判断ができる」という言葉にハッとさせられました。(喜田亮子)

2022
02

事務局やってみた!

地域活動をスムーズに進めるためのコツ経験共有会

事務局として地域活動をスムーズに進めるためのコツ

- ① 判断に悩んだときは事務局のコアメンバーでよく話し合って決める
- ② 事務局仕事は、スムーズかつ慎重に進めることがポイント
- ③ 楽しく参加しながら、客観的視点を持ち続ける



サポートオフィスの
グッと
ポイント

ゲストお三方に共通していたのは、迷ったとき他のメンバーにすぐに相談するようにしているということでした。1人で抱え込まない体制も良い事務局のポイントの1つだと思いました。(橋本空)

2022
03

まちチャレやってみた!

市民提案型事業 講座づくり★まちチャレ経験共有会

サポートオフィスのホームページで
詳細のレポートを公開していますので
是非ご覧ください。



SEE YOU NEXT

2023年度も、地域活動に生かせる視点やポイントだけではなく、地域でのつながり作りにも生かせる経験共有会を実施予定です。詳細が決まり次第、サポートオフィスのホームページ等でご案内しますので、どうぞご期待ください。地域活動で苦労したことや工夫したこと等、活動中のみなさんに共有したいご経験のある方、サポートオフィスまでぜひご一報ください!

